

みんなで歩こう！ 猪名川町歴史街道



多田銀銅山 悠久の館

平成19年4月にオープンした多田銀銅山の歴史資料を展示している施設です。猪名川中学校の生徒達で作った、当時の代官所の様子を想像して復元した100分の1の模型は、見ごたえがあります。



多田銀銅山代官所想像模型

金山彦神社

大同2(807)年頃に建立されたと伝えられています。境内にある薬師堂は、暗闇や粉じんの多い場所で働いていた鉱夫達から「目の神様」として信仰を集めたと言われています。



観光ボランティアガイドに銀山の説明を受ける皆さん

歴史街道とは、悠久の歴史の舞台を訪ねながら、日本文化の魅力を楽しむことができる関西の8府県にまたがる街道のことです。

秋です。さわやかな風が吹き、自然の中を歩くのが心地よい季節になりました。私達は、猪名川町観光ボランティアガイドの案内で、歴史街道を散策するグループの皆さんといっしょに「猪名川町歴史街道」を歩いてきました。今回は、皆さんに猪名川町歴史街道の見どころを紹介いたします。

いながわ
特派員報告

中橋 弥里
木下 美由紀

観光ボランティアガイド

観光ボランティアガイドは、猪名川町を訪れる観光客などに史跡や文化財を案内し、町の魅力を伝えることを目的として平成19年4月から本格的に活動し、現在、32人のガイドが登録されています。

猪名川町歴史街道は、日中から銀山地域を通り、道の駅いながわ、ふるさと館へと続く全長15.5kmの街道です。この街道沿いには、国の文化財である静思館、銀山地区にある代官所跡遺跡や青木間歩、木喰明上人が造った木喰仏を多数保有する東光寺などがあり、猪名川町の歴史や文化に出会うことができます。



姫ヶ淵(ヤカタ淵)



町に伝わる「佐保姫伝説」の中で、戦国時代、明智光秀の娘と言われる佐保姫が悲恋の末に身を投げたと言われている場所です。日照りが続いて水が少なくなっても、佐保姫が自分の姿をさらすことを嫌がり雨を降らすので、猪名川の水は枯れることがないと言われています。

6 昨年度は、42団体、約1
000人が利用し、遠くは
三重県や奈良県から来られ
たグループもありました。

道の駅いながわ



地元産の新鮮な農作物の販売や、特産品のそば粉を使った十割そばが人気です。また、町の観光情報や歴史街道に関する資料が閲覧できる情報発信基地でもあります。猪名川沿いの親水公園は佐保姫公園と名付けられています。

青木間歩

間歩(まぶ)とは鉱山の坑道のことです。青木間歩の他に、台所間歩、瓢箪間歩などもあります。青木間歩は唯一内部を一般公開しており、坑道内は夏でもひんやりと涼しく、青白い鉱脈が走っている様子を見ることができます。薬用として利用されたアオキが繁っていたことからこの名前がつけました。



代官所の門(伝承)

代官所の門を移設したといわれている堂々としたたたずまいの門です。昔は馬に乗ったまま通れるほど高いものでしたが、移築の際、低くしたと言われています。



観光ボランティアガイドを利用するには



観光ボランティアガイドに、町内にある素晴らしい自然・文化・史跡・景勝地、また、ガイドブックだけでは得ることのできない情報や見どころを案内してもらうことができます。

【利用方法】 対象3人以上のグループ 利用料無料 予約希望日の1カ月前 見学コース多田銀銅山コース、木喰仏コース、猪名川渓谷ラインを歩く散策コース、その他(静思館・戸隠神社・屏風岩など) 申し込みは、農林商工課に備え付けのガイド申込書に必要事項を記入し、同課へ提出してください。FAX(766-7725)またはEメール(norinshoko@town.inagawa.lg.jp)も可 問い合わせは、同課(766-8709)へ。

後編 記集



6月に銀山周辺、9月に道の駅いながわからふるさと館まで、それぞれ2時間ほどかけて歩いてみました。ガイドさんの案内のおかげで、山の緑や心地よい説明を聞いて遠くまで、山を歩いた気分を味わうことができました。

風には季節を感じながら、整備された遊歩道を歩いてみると、日常を離れて心が穏やかになるような気がしました。皆さんも、ぜひ一度歩いてみて、歴史と自然に恵まれた私達の町の魅力を再発見してください。

【いながわ特派員】